

## Press Release

報道用資料

2008年3月6日

**2007年のタイ自動車初期品質、トヨタが3セグメントでトップ****2007年タイ自動車初期品質調査(IQS)**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、代表取締役社長：アルバート ラパーズ、略称：J.D. パワー）は、2007年タイ自動車初期品質調査（Initial Quality Study、略称 IQS）の結果を発表した。

当調査は、新車購入後2～6ヶ月が経過した車の所有者を対象に、タイにおける自動車の初期品質を調べるものである。実際に経験した不具合をユーザーに指摘してもらい、100台当たりの不具合指摘件数として算出する。単位はPP100（Problems per 100 Vehicles）で、数値が小さいほど不具合指摘が少なく、品質が良いことを示す。

8回目となる今回、内容を大幅に変更した。不具合指摘項目が前回までの135項目から、8つのカテゴリーの200項目以上と増えた。8つのカテゴリーは「外装分野」、「走行性能分野」、「装備品/コントロール/ディスプレイ分野」、「オーディオ/エンターテインメント/ナビゲーション分野」、「シート分野」、「空調分野」、「内装分野」、「エンジン/トランスミッション分野」である。

今回の調査は、2006年10月から2007年6月の間に新車を購入した人を対象に2007年4月から8月にかけて面接調査を実施し、3,991人から回答を得た。調査対象車は10メーカーの55モデル。

**初期品質はブランド・ロイヤルティと推奨意向に大きく影響**

セグメント別ランキングでは、5セグメント中3セグメントでトヨタが、残りの2セグメントでホンダとマツダがトップに立った。各セグメントの上位モデルは次の通り。＜参考：3ページのランキング表＞

エントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、トヨタ・ヤリスが2年連続第1位となった。不具合指摘件数は144PP100だった。第2位はフルモデルチェンジしたトヨタ・ヴィオス（176PP100）、第3位はホンダ・シティZX（182PP100）だった。

ミッドサイズカー・セグメントでは、マツダ3（164PP100）が第1位だった。第2位にはトヨタ・カローラ・アルティス（179PP100）、第3位はホンダ・シビック（217PP100）が入った。

SUVセグメントでは、ホンダCR-V（116PP100）がトップとなり、第2位はトヨタ・フォーチュナー（179PP100）、第3位はいすゞ・MU-7（215PP100）だった。

ピックアップ・エクステンドキャブ・セグメントの第1位はトヨタ・ハイラックス・ヴィーゴ（153PP100）で、第2位にはマツダ・BT-50（155PP100）、第3位には日産・フロンティア・ナバラ（164PP100）が入った。

ピックアップ・ダブルキャブ・セグメントでは、トヨタ・ハイラックス・ヴィーゴ・プレランナー（187PP100）が第1位となった。日産・フロンティア・ナバラ（190PP100）が第2位、いすゞ・D-MAX・ハイランダー（195PP100）が第3位に入った。

2007年の不具合指摘件数の業界平均は185PP100だった。また新車所有者の3分の2近くが購入から6ヶ月以内

に少なくとも1件の不具合を経験している。カテゴリ別に不具合指摘件数を見ると「エンジン/トランスミッション分野」が最も多く、次いで「外装分野」と「走行性能分野」が多かった。

今回の調査結果について、J.D. パワー アジア・パシフィック（シンガポール）のカントリー・マネージャー、ロイック・ピーンは、「新車購入後の数か月間に顧客が不具合を経験すると、ブランド・ロイヤルティや推奨意向が大きな影響を受ける。そのため、新車の不具合を削減することはメーカーにとって非常に重要である」と述べている。知人に同じモデルを「必ず推奨する」あるいは将来同じメーカーの車を「必ず購入する」と回答した顧客の不具合指摘件数は、「絶対に推奨しない」あるいは「絶対に購入しない」と回答した顧客の半数だった。

\* 当報道用資料のオリジナル（英語）はシンガポールで発表済みです。

\* J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエーツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。プライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト [www.jdpower.co.jp](http://www.jdpower.co.jp) まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエーツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエーツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888 年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ（NYSE: MHP）は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエーツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界 40 カ国に 280 カ所以上の拠点を有し、2007 年の売上高は 68 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト [www.mcgraw-hill.com](http://www.mcgraw-hill.com) まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 川野、杉崎

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8090

F A X： 03-4550-8151

e-mail： [cc-group@jdpower.co.jp](mailto:cc-group@jdpower.co.jp)

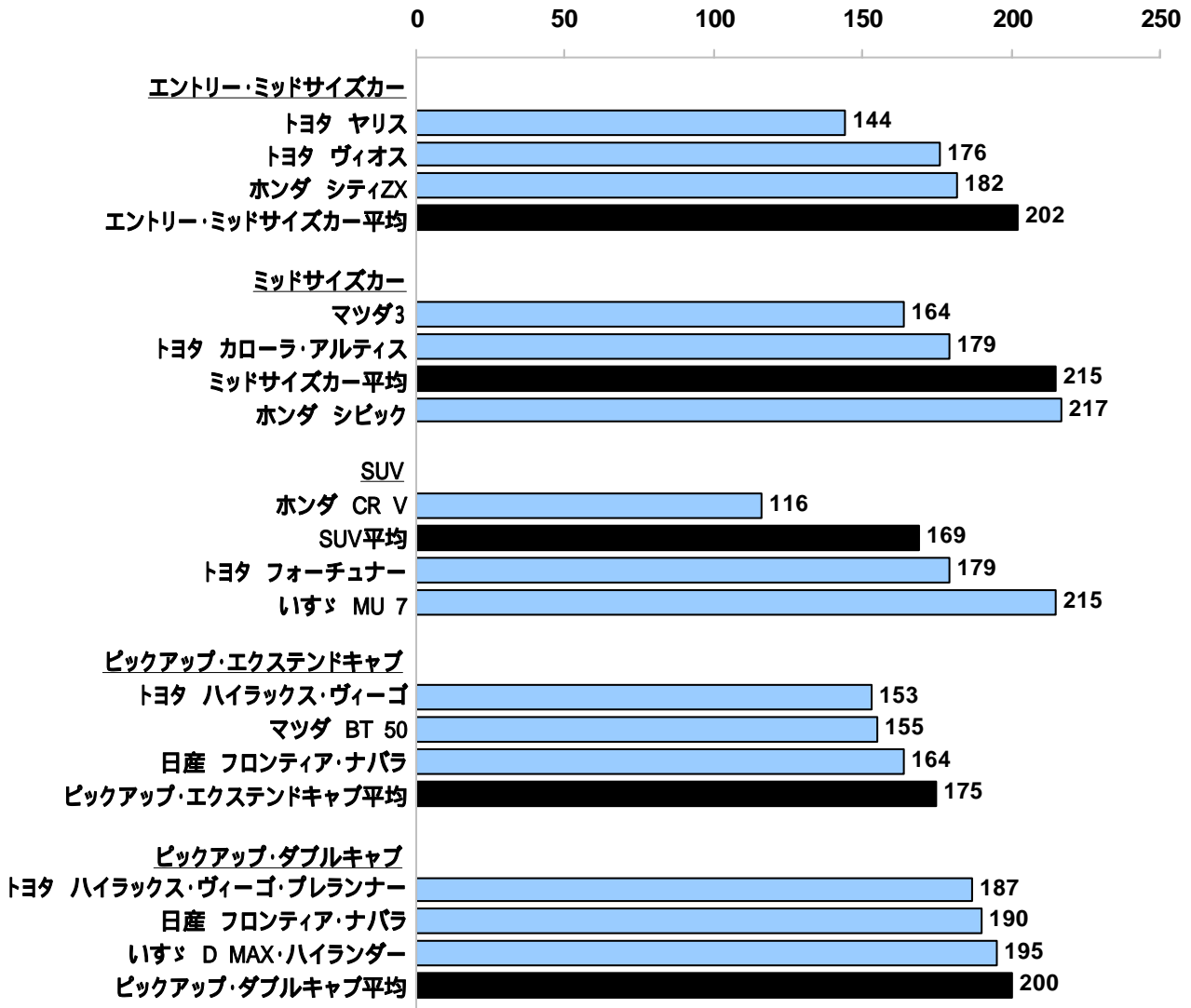
<ご注意>

**本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。**

# J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年タイ自動車初期品質調査<sup>SM</sup> (IQS)

## セグメント別ランキング トップ3モデル (スコアが低いほど、不具合指摘が少ないことを示す)

単位: PP100



注) プレミアム・ミッドサイズカー・セグメント、ラグジュアリーカー・セグメント、MPVセグメント、ピックアップ・スタンダードキャブ・セグメントはサンプル数不足のため、ランキングは実施していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年タイ自動車初期品質調査<sup>SM</sup>

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2007年タイ自動車初期品質調査<sup>SM</sup>)を明記してください。